

## ～下記の研究を行います～

# 『がんゲノムプロファイリング検査の 二次的所見（SF）における調査』

【研究責任者】松山 裕美 （認定遺伝カウンセラー®）

【研究の目的】がんゲノムプロファイリング検査の二次的所見（Secondary -Findings : SF）  
における調査・研究

【研究の期間】研究許可日～2030 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2019 年 6 月 1 日～2030 年 3 月 31 日までに、当院でがんゲノムプロファイリング検査を受  
けて二次的所見（Secondary -Findings : SF）を指摘された方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録から以下の情報（個人を特定する情報を除く）を収集します。

<収集項目>

がんゲノムプロファイリング検査の実施日、検査項目、二次的所見の有無、二次的所見開  
示希望の有無、検査時年齢、実施した場合は二次的所見の確認検査（生殖細胞系列遺伝子の  
検査）の結果、他の遺伝学的検査実施の有無、既往歴、治療歴、家族歴、家族構成、遺伝性  
疾患に対する本人と家族の認識、遺伝カウンセリングの内容、転帰等

【情報等収集開始予定日】2025 年 9 月 22 日

【情報等の管理責任者の氏名】国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest）とは、「主に経済  
的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められてい  
るのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機  
器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれに  
あたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理さ  
れています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研

究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としますので、情報等収集開始予定日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中心区法円坂 2 丁目 1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 臨床研究センター 分子医療研究室 任期付研究員／  
遺伝診療センター 認定遺伝カウンセラー® 松山 裕美